

ゆめサロン

便り

平成 27 年 10 月 2 日

吉賀町ゆめサロン

No. 294

もう十月

みなさまお元気ですか



秋ですね。自然はそれを気付かせてくれます。

元気でいい秋を過ごさせて戴けることを感謝するこの頃です。

楽しい秋にいたしましょう。

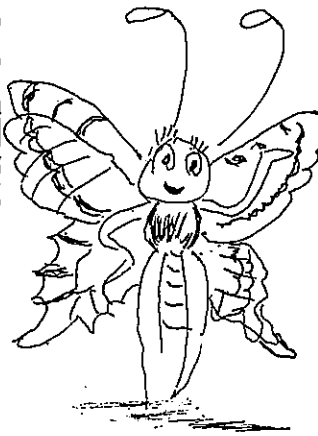
うれいです



手書きのサロン便りをインターネットに載せて下さいました。お見苦しいとは思いますが、筆者のボケ防止に時々載せさせて頂きます。

ご覧になって下さいませ。また、ご投稿頂ければ嬉しく思います。川柳なども歓迎致します。

ゆめ川柳復活



いちごさんが以前出して下さってました川柳でしたが、いちごさんが亡くなられてしばらくお休みしました。またいちごさんのユーモアを思い出しこの欄を復活させたいと思います。皆様お出しく下さい。ペンネーム歓迎します。



吉賀町の

うた



このところお昼十一時半になると歌詞のないメロディだけが、流れます。十二時は野ばら、夕方五時には赤トンボ、音楽はいいですね。曲が聞こえてくると、ペットの猫あるのが私の顔を見るのが不思議です。ご飯だよ。というのかもしれないかもわかりません。



「このところ、実をつけないので。」と親しい人によく言う私…。気がつきました。どうも私が知らないときにカラスがとるらしいです。ぐみも熟れたのを見たことがあります。カラスは賢いです。

ペットの

あるこの生活です



皆様いつもお邪魔します。お元気ですか。あるこは元気で皆様のお幸せを祈っています。飼い主はいつも、猫は魔除けだよ。とあるこを撫でてくれます。世の中には動画とやらで可愛い猫がわんさか居ますが、あるこはそんな芸はひとつも出来ません。だつてあるこは人間と思つてゐるんです。魔除けの時だけ猫です。今日は飼い主のツレがいません。いつもは飼い主とそのツレがテーブルに向かって座るとあるこも餌の入れ物の前に並びます。餌の主だけの時はあるこは餌を食べていないのです。夜、餌い主が布団に入るとあるこは一緒に入ります。ある子の枕もあるのです。

只、困るのはあるこは夜行性だから夜はなかなか眠れません。じつと飼い主を見守つてやるのです。では又、お話しさせて下さい。



ゆめサロン

便り

平成 27 年 10 月 9 日

吉賀町ゆめサロン

No. 295

秋の中で

皆様お元気のことと思います。



今この時期は気候も良く過ごし易いですね。私は毎日、基本、ペットの猫、あること、私のツレとの生活ですが、毎日どなたかがいらして下さったり、電話を下さったり、本を読んだり、テレビを見たり、お手紙を書いたりして一日がすぐ過ぎてしまいます。有り難いことです。たまに出かければ、入院したのではないかと心配して下さったりで、かえって出かけることが出来ないと言うのも贅沢な悩みです。ペットのあること共に秋の一日を過ごしていきます。



緑子

ゆめ川柳

「認知症になったかな」

納得の

いかならないことを

叱られる(よその人に)

思い出の

手紙

ある日のことです。



緑子

かたづけをしていて、昔の知人から貰った手紙が出てきました。貴方のご多幸を祈ります。と綺麗な毛筆で般若心経を添えて居て下さったのです。心から感謝し、大切に片付けました。今はこの世に居られないこの方のお元気だった頃を思い出し懐かしく思いながら……。

コスモス



この頃あちこちで見かけるコスモスですが、大きく成長しすぎたのは後のかたづけが大変ですね。私は七

猫の

あること

です。

みなさま、お元気ですか。

ある子は元気で飼い主と、ツレと一緒に、秋を楽しんでいます。

飼い主は言います。猫は次に起こす行動をいつもと同じにする。つまりパターン化していると……。

そうなんです。ある子は飼い主が

次にすることがわかります。夕食が終わるとお風呂に入るはずなので、ある子はお風呂の入り口ですと待ちます。一時間しても片付けをしりしているときは、流石に待ち切れず、飼い主の足をパンチしてやりませす。飼い主はわかったよ。とやっとお風呂にやってきます。この時に貰う温かいお湯の味は最高です。ある子は飼い主がお風呂に入る様子をいつまでも見ているのです。たまにおくんはこんな時間がないから、今日もずっと外である子待っています。いざよという日の月を見ながら……。



ゆめサロン

便り

平成 27 年
10 月 18 日
No.296
吉野町ゆめろん

十月の定例会



発足から満七年たちます。

元気でサロンに参加させて頂ける喜びを感じながら、秋晴れの吉賀路を助手席で眺める私の頭には出席される方のお顔が次々と浮かびます。

保健師さん課長補佐さんは早々と会場を整えて待つて下さり、ボランティアの看護師さん訪問看護の看護師さん、保健福祉課長さん、それに今回は近隣の市の大きい病院の看護師さん、実習に来られた学生さん二人と恵まれた中で、患者経験者は感謝しながらの参加は、いつものことながらまさに大船に乗った気分です。笑いの中でいろいろ話し、歌い、今回もあつというまの一時半が過ぎました。認知症予防の脳ト

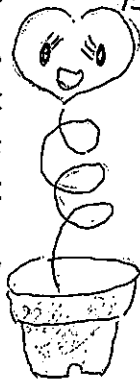
しでも楽しませて頂きました。有り難うございました。

保健師さんより



“ 知ろう、語ろうガンの事 ” は日程は前に知らせた通りで、バスの手配はしたが、予約がとれなかったの自分で参加してほしい。展示のことは後日知らせる ということでした

お待ちかね、老止女さんより



ゆめサロン

老止女 (おとめ)

ひとりごとくすり



“ 思わず笑ってしまいました ” “ 面白く読みました ” とか聞きましたので、これに気をよくし、よせばいいのに、又書いてしまいました。

○立ち上がり 用事忘れて

○目薬を さすのに何故か また座る

○老一人 家電ブザーに、

口を開け

返事をし

○好きだった 女の名前

猫につけ

○死んでから 貰う保険を

勧められ

○腰曲がり 地面見ながら

散歩する

○よそ見してこけた人見て

我もこけ

○ばあさんは ねれんねれんと

いびきかき

○困ったじじ 金は残さず

ばば残す

○とても無理 万歩計より

千歩計

○争いの火種はいつも

しゃべりすぎ

○出て来ない 履いたパンツが

後ろ前

○深刻は情報漏れより

尿のもれ

○名が出ない あれ、これ、それで用をたす

私にもこんな名作が、一作でも出来たらなあと思えます。

やがって立冬を迎えます。寒くな

ります。体に注意して動きましよう

有り難うございました。

加齢は華麗



色々なお話しがでたのですが、その中で、老いを感じさせない、ご自分も感じていない前向きな方からの悩みで、お医者様はすぐ、加齢です。と言われるという方があります。と言われるという方に、加齢で生きていくのに深刻な悩みでないからでしょう。お医者様はみんな若いからわかれられないから、私たちが教えてあげましょう。といって笑いましたが、加齢の苦しみを感じないで生きたいと思うこの頃です。今は亡きいちごさんが、医者に来て二時間まって加齢です。と言われたのを思い出します

あることです。



飼い主が出かける前に外でひなたぼっこをして居ましたら、締め出されて家に入れなくなり、待ちぼうけのあるこはひたすら飼い主を待ちました。サロンの為に我慢でした。

ゆめサロン

便り

平成 27 年 11 月 5 日

吉賀町ゆめさろん

No.297

はや、十一月も

五日になりました



皆様お元気で、有意義な毎日をお過ごしのことと思います。気がつけばあたりは、紅葉ははじめています。我が家の粗末な庭の鉢物も赤や黄色に変わってつわぶきの黄色い花が満開です。赤トンボがのんびりと羽根を休めている、深まった秋の風景です。

検診にいった

来ました。



お蔭で、癌は一段落しても、日々年をとっていく体です。主治医の先生に常にお世話になり、神様が決められた最後の日まで、苦痛なく生き

たいと、欲を思い主治医の先生に、お世話になっていきます。そこでの温かい出会いとお心づかいに感謝し今日も生きさせて貰っています。

感動したこと



或る日、夕食をとって居ましたら突然の電話があり、若い男の人の声で「〇〇さんですか？〇〇ですがご主人は居られますか？」と言われたのです。誰と言われたんだろう？？と言いながら夫に代わりました。結果は同じ町内会の四十代後半位の男性で、「先日から心配していた眉毛の太い方が今日温泉に来られたという報告でした」いつも温泉に来られるのにこのところ来られないが、体調でも悪いんじゃないかと夫と心配していたのだとか・・・そのかたというのは大腸がんを克服されて今では温泉を楽しみにしておられる八十代のかたなのです。こんなに若い方がしかも仕事帰りの疲れた身で、知らな

い方のことを心配して下さいさるなんて、優しい方だ。と話しました。一日の終わりに、こんないい話を聞けるなんて、とわざわざ電話を下さった男性に心から感謝していました。気がつくとい飯をおかわりしていました。

またお腹が膨らむかも・・・



島根県

がん対策キャンペーン

「知ろう、語ろうがんのこと」

「益田」

とき平成二十七年十一月二十九日

一時半～三時二十分

ところ島根県芸術文化センター

「グラントア」

基調報告

講師 益田保健所長村下伯さん

活動報告 豊川地区福祉と健康

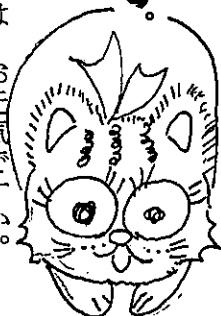
つくりの会

講演会講師 麻木久仁子さん

展示物紹介

皆様おこしく下さい。

あることです。



こんにちは お元気ですか。

あるこは猫です。一日中寝て暮らします。でも寝てはいるけど飼い主の生活を応援しながら見守っているのです。

この頃やっと、認めてもらえたのはある子の役目です。

飼い主が夕食を終えたとあるこはお風呂に行きます。飼い主が、お湯はりを始めるとじっとお湯を見て待っています。機械の音が、「お湯張りを終了しました」と言うところこは飼い主を呼びに居間に戻ります。これからが大変です。人間語が話せないあるこは飼い主をお風呂に誘導するのですがなかなか気づいてくれません。今日も又頑張るあるこです。

ゆめサロン

便り

平成 27 年

11 月 11 日

吉賀町ゆめサロン

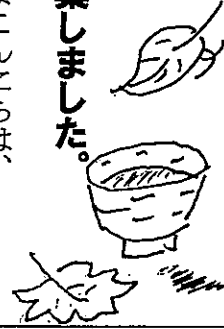
No.298

あたりは

紅葉しました。

みなさまこんにちは、

朝起きてみると、窓の外の紅い楓が一層赤さを増していました。今年は気温があまり下がった感じがしないのに季節は巡っていきます。体に気を付けて過ごしましょう。



気象病

気温、湿度、気圧そして天候の変化によって心身に様々な不調が現れる病気だそうです。気象の変化が自律神経を狂わせるのだそうです。自律神経を鍛える事が気象病予防につながることを知り



ました。さてこれからどうすればいいのでしょうか。

天候も人間の体に色々と作用するのですね。私たちは生かしていただいている事を、「こころ」でも感じます。やっぱり私は、お医者様におすがりするのが一番だと思ふこの頃です。

川柳

お寄せいただきました。



戒名は

マイナンバーで

いいからね

弘子さんより



たまおくと

あるこ

たまおくんは近所に住む生後一年半くらいのおす猫です。あるこを慕

って昼でも夜でもやってきます。その鳴き方はあめん

と一声なのです。「こんにちは」というのでしょうか。その猫に習ったのかあるこまでが外から帰るとあめん

というのです。たまおくんは可愛くあどけない顔である子を見て居ます。あるこが箱の中に寝ているとたまおくんは上がってきて廊下をのこのこ歩いていきます。何かわからない光景です。そのうちこの家は猫に占拠されるのでしょうかガンと闘いながらある子と過ごした日を思います。

雨上がり

ぬれ落ち葉が張り付いて庭を掃くの力が要りますが雨が上がったとたんあたりはライトアップしたかの様に明るく紅葉の風景に化しました。これから暫くの間この景色を楽しむことに



いたしましょう。真冬に咲くと

いう紅い山茶花が深緑の葉の陰から咲き始めました。季節はめぐりめぐって冬を迎えようとしています。皆様お元気で……

あめりか

皆様こんにちは！

お元気で過ごしていますか。

あるこは毎日よく寝てすごしますが、飼い主が煩いのが困ります。すぐに抱いてくれるのですがこの頃鈍くなったのか爪をしまうのが下手になり飼い主の服にからまっています。そつとして寝かせてくれるといいのと思うこの頃です。では又お会いしましょう。



ゆめサロン

便り

平成 27 年
11 月 22 日
吉賀町ゆめサロン
No.299

清七年過ぎました

ゆめサロン定例会



メンバーの方をお迎えに行くと、「山がすっかり冬の装いになりましたね」と言われ、あらためて見ると、なんと気がつかないうちに、変わっていました。所々に残された紅葉っぱが木に着いたまま風に揺れているのを横目に保健センターに向かいました。今回は参加者が少なく淋しい中でしたが、保健師さん、課長補佐さん、社協から訪問看護の看護師さんはいつものように、参加者を迎えて下さり、話し、打ち明け、歌ってあっという間に時間も過ぎました。



伝達事項



看護師さんより
ノロウイルスの患者さんが出たので手洗いをしっかりとするように、そして罹患したときの対処法などを話して下さいました。
保健師さんより
肺炎球菌の予防接種を必ず受けるように、ということとしっかりと五年が経過して受ける為に前回の証明をとっておくように、前回受けた病院には記録がある。ということでした。

経過報告



そして検査結果と次への課題などを打ち明けたら、お互い喜びあったり、安心したりしたあとは、なにも忘れて懐かしい歌や吉賀の里歌、島根県民歌を歌い思い話を話したり脳トレで笑ったりして与えられた時間を過ごし、次回もまた元気で会うことを約束して、会場を後にする頃は、晩秋の陽は西に傾き、この時期にしては温かい夕方の風が枯葉をカラカラと集めるように隅っこに片寄せてい

き、迎えるの車に乗って会場をあとにしました。

投稿

ゆめサロン老女(おとめ)



ひとりごとあれこれ

日本が世界に誇れるものの中に、春夏秋冬、移り変わる自然の美しさがあります。すでに暦の上では、冬となり、やがって師走という忙しい時に移ろうとしています。

秋から冬にかけての美しい季節のことは書き出してみました。

○秋思(しゅうし)

冬へと近づく秋

○冬隣(ふゆどなり)

立冬(十一月八日ごろ)を控

え冬のきびしさが近くに迫っている晩秋をさす。

○霜の声(霜の声)

霜が降り、しんしんと空気が冷たく冴え渡ったよう

す。

○星月夜(ほしづきよ、ほしづくよ) 暗夜、星が輝き、月が出ているように明るい夜。

○山茶花ちらし(さざんかちらし) 秋から冬にかけて咲く山茶花。その花を散らして降る冷たい雨のこと。

○秋麗(あきうらら) 柔らかな日ざしに春を思う。きびしい冬を前にした時期に訪れる穏やかな晴れの日。

○秋果(しゅうか)

秋の果物のこと。春に花をつけた果物の多くが、この季節に豊かな実を結ぶ。

すばらしい季節の言葉の多いこと!

こんな季節のことは知ると、知らなかったころよりものごとの感じ方が深まるように思います。

(何れ冬のことばも書き出して みようと書いています)

有り難うございました。

